

自己評価票 書き方例

自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい項目 取り組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を話し合い、日々のサービスを振り返り全員で自己評価を実施したため、課題が明らかになった。 一方、昨年は、自己評価や外部評価を形式的に終えてしまい、改善課題について話し合ったり計画の作成はせず、評価を活かしていない。	○	具体的な目標を掲げた改善計画を作成し、その実施状況を定期的に振り返り、質の向上につなげていきたい。評価結果を運営推進会議で報告し、モニターしてもらったり、協力を頂けるよう話し合う予定である。
26	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月家族便りとともに、暮らしぶり、金銭出納状況等個別に郵送または来訪時に報告している。ただ、ホーム側からの一方通行になりがちで、意見の引き出しに十分つながっているとは言えない。	○	報告の方法や内容、頻度について、家族等に率直な意見を伺う機会を作るとともに、さらに個々の家族等の視点に立って報告していくことを心がけていく。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵をかけることの利用者にもたらすデメリットについて話し合っている。利用者個々の特徴や不安の原因に留意し、きめ細かくキャッチしていくことで、安全面を重視しながら鍵をかけないケアに取り組んでいる。また、近隣の方々にも声かけなどの協力を頂くとともに、地域全体でのお年寄りの見守りネットワークに積極的に参画している。		